
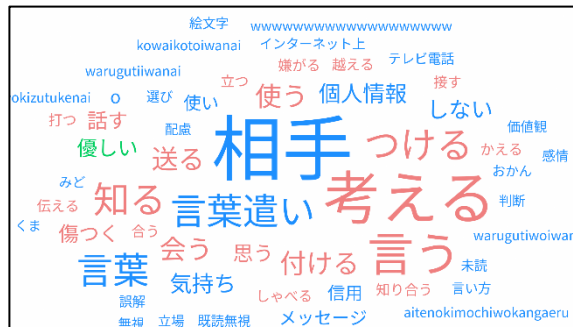


1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立烏城高等学校		
実践者等	太田重成	実践日	令和3年5月20日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	情報・社会と情報		
対象生徒(学年等)	1年生		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	インターネット上でのコミュニケーション		
使用したアプリ等	Google Forms、AI テキストマイニング		
実践の概要(ねらい等)	多くの考え方を収集するために Google Forms、さらに集約して可視化するために AI テキストマイニングを活用した。		
実践の内容			
<p>(1) 本時の目標(インターネット上でのコミュニケーションにおいて注意しなければならないことを理解している)を確認する。</p> <p>(2) 「信頼できる人の基準」を自由記述で Google Forms を使って収集する。 続けて「怪しい人の基準」を自由記述で Google Forms を使って収集する。</p> <p>(3) それぞれの回答の一覧を閲覧させ特徴を考えさせる。</p> <p>(4) それぞれの回答をテキストマイニングして特徴を可視化する。</p> <p>(5) 多くの意見は対面でないことを確認できない内容が多いということを確認する。</p> <p>(6) 「インターネット上でのコミュニケーションの工夫」という題材で、文字でのやりとりにおいて文末や文中に使用されると不快に感じるものと、実際に自分が使用しているものを Google Forms を使って回答させる。</p> <p>(例：(笑), w, www, かわいい, プ, プゲラ, 絵文字, 顔文字)</p> <p>(7) 回答を閲覧させ、自分の感覚と他者の感覚が違うことを実感させる。</p> <p>(8) 「インターネット上でのコミュニケーションで注意すること」という題材で気を付けたいことを自由記述で Google Forms を使って具体的に回答させる。</p> <p>(9) 回答の一覧とテキストマイニングした結果を確認させる。</p>			
参考となる HP 等	  https://textmining.userlocal.jp/		